

【オリコンサル 日本危機管理防災学会主催のオンラインシンポで事務局 防災DXテーマにシンポ】

## 防災DXテーマにシンポ

日本危機管理防災学会

日本危機管理防災学会（市川宏雄会長）は、シンポジウム「災害リスクの見える化〜防災DXの可能性と活用に向けて〜」をオンラインで8月31日に開催した。自治体職員らを中心に約300人が参加し、地震災害や、激甚化・頻発化する風水害に対する取り組みに向けて意識を高めた。オリエンタルコンサルタンツが事務局を務めた。

シンポジウムは自助・共助・公助の観点から、より実効性のある防災対策の知

識を深めることを目的に実施。「災害リスクの見える化」とそれを踏まえた「対策の自分事化」について、



パネルディスカッションの様子（オリエンタルコンサルタンツ提供）

DXの取り組みなども含め多面的に話題提供した。

第1部では行政の担当者など防災の専門家が災害対策の課題などについて講演。第2部では東京都立大学の小林一樹名誉教授をコーディネーターとして、被害想定の良い理解に向けた課題やリスクコミュニケーションなどをテーマにパネルディスカッションした。

ディスカッションを踏まえ、小林名誉教授は「災害リスクの見える化により被害を軽減するには、映像などによる『視覚的な見える化』だけでなく、災害シナリオなどによる『認識的見える化』が有力な方法だ」と総括した。